



若者の県外流出が進む中、地元企業に就業体験をして関心を持ってもらおうと、「インターンシップガイダンス」が22日、アオーレ長岡で開かれた。2020年春卒業予定

長岡 地元の企業に関心を

の大学生や専門学校生らが参加し、気になった企業の体験内容や日程を確認した。写真

春に本格化する就職活動の前に、学生が帰省する年末に合わせて市が主催し、今年で3回目。製造業や介護業、建設業など市内の60社がブースを出展した。企業側は就業体験の内容や日程、会社概要などを説明。学生らはブースをいくつも回ってメモを取っていた。

埼玉県から帰省した市内出身の東京国際大3年、井田龍之介さん(左)は「長岡の企業の就業体験の情報を一度に集めることができた。いろいろな業種に申し込んでみたい」と話した。